

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	神戸学院大学
設置者名	学校法人神戸学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
法学部	法律学科	夜・通信	20			20	13	
経済学部	経済学科	夜・通信				20	13	
経営学部	経営学科	夜・通信				20	13	
人文学部	人文学科	夜・通信				20	13	
心理学部	心理学科	夜・通信				20	13	
現代社会学部	現代社会学科	夜・通信				20	13	
	社会防災学科	夜・通信				20	13	
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科	夜・通信				20	13	
総合リハビリテーション学部	理学療法学科	夜・通信				20	13	
	作業療法学科	夜・通信				20	13	
	社会リハビリテーション学科	夜・通信				20	13	
栄養学部	栄養学科（管理栄養学専攻）	夜・通信				20	13	
	栄養学科（臨床検査学専攻）	夜・通信				20	13	
薬学部	薬学科	夜・通信			20	19		
(備考)								

(備考)

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.kobegakuin.ac.jp/information/syllabus/syllabus/index.html 学生に対しては、学内システムを通じてシラバス（授業計画）を公開しており、「シラバス照会」のシラバス検索「キーワード」欄にて「実務経験」などで検索可能である。 https://www.kobegakuin.ac.jp/information/syllabus/2025/index.html 2025 年度分は上に一覧表を公表している。

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	神戸学院大学
設置者名	学校法人神戸学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.kobegakuin.ac.jp/foundation/about/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	会社役員	2024.4.1～ 2026年度定 時評議員会 終結の時ま で	理事長 (法人の統括)
常勤	一般社団法人 支部長	2024.4.1～ 2026年度定 時評議員会 終結の時ま で	常務理事
(備考) 学外者である理事 6名			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	神戸学院大学
設置者名	学校法人神戸学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・ 学士課程における授業計画書(シラバス)の作成過程について、本学では、シラバスの項目や記入方法を全学的に統一している。具体的には、「シラバス作成マニュアル」を全教育職員に配付し、シラバスの質保証に努めている。 - 作成したシラバスは、「シラバス第三者チェック」にかかることになる。具体的には、各学部等が指定するチェック担当教員によって、自学部等の科目のシラバスの記載内容が適切であるかどうかを確認し、その結果、改善を要するものは、当該授業担当教員が修正している。 ・ 授業計画の作成・公表時期について、本学では、次年度のシラバスを毎年 11 月から翌年 1 月頃までにかけて作成し、3 月に教務センターが実施する学部生向けの「履修ガイダンス」に先だって、あらかじめ広く一般に公表している。	
授業計画書の公表方法	https://www.kobegakuin.ac.jp/information/syllabus/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・ 単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況について、本学では「学則」および「学科目履修規則」において、各授業科目の単位、授業科目履修方法、履修科目修了の認定、履修成績等について定めるとともに、「シラバス(授業計画)」の「提出課題など」と「成績評価方法・基準」において、各授業科目の成績評価に関する事項をあらかじめ公表している。 - 具体的な成績評価方法については、「授業中の質疑・発表」、「小テスト」、「中間テスト」、「レポート」、「定期試験」等とし、その評価は、秀(90 点以上)、優(80 点以上 90 点未満)、良(70 点以上 80 点未満)、可(60 点以上 70 点未満)、不可(60 点未満)をもって表示し、秀、優、良、可を合格、不可を不合格としている。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・GPA等の客観的な指標の具体的な内容について、本学では「全学共通GPA」を制定している。具体的には、秀=S (4点)、優=A (3点)、良=B (2点)、可=C (1点)、不可=D (0点)、無評価=／ (0点)をGP (Grade Point) とし、以下の式を用いて「全学共通GPA」を算出している。 $\{(4 \times S \text{の修得単位数}) + (3 \times A \text{の修得単位数}) + (2 \times B \text{の修得単位数}) + (1 \times C \text{の修得単位数})\} \div \text{履修したすべての科目の単位数の合計} (S + A + B + C + D + \text{／})$ ・客観的な指標の適切な実施状況について、本学では、上記した「全学共通GPA」を公式ホームページにて公表し、且つ学生に向けては「履修の手引」にも同様の内容を掲載することで、算出方法や学内外での利用方法について周知を図っている。また、「学科目履修規則」において、学生が、定められた期間に履修取消申請をし、許可された場合や、病気等により長期欠席となり履修中止申請をし、許可された場合は、履修登録を取り消すことができる旨を規定している。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.kobegakuin.ac.jp/information/public/evaluation_gpa.html
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ・卒業の認定に関する方針の具体的な内容について、本学では「学則」、「学位規則」及び「学科目履修規則」に則り卒業認定を行っている。また、卒業の認定方針については、全学の「ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)」を定め、その下にすべての学部学科等のポリシーを定めている。 具体的には、「学位規則」に、学士の学位を授与するものを定め、その方針を全学および学部学科等の「ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)」にて明示している。当該方針は、本学公式ホームページにて公表し、且つ学生に向けては「履修の手引」にも同様の内容を掲載することで周知を図っている。 ・卒業の認定に関する方針の適切な実施状況について、本学では、上記した方針をカリキュラムに反映するため、「学則」および「学科目履修規則」において、卒業に必要な要件である科目数と単位数を定めている。また、学生の卒業及び学位の授与は「学則」に基づき、学長が決定を行う。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.kobegakuin.ac.jp/information/outline/policy/diploma.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	神戸学院大学
設置者名	学校法人神戸学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kobegakuin.ac.jp/information/outline/financial/
収支計算書又は損益計算書	https://www.kobegakuin.ac.jp/information/outline/financial/
財産目録	https://www.kobegakuin.ac.jp/information/outline/financial/
事業報告書	https://www.kobegakuin.ac.jp/information/outline/financial/
監事による監査報告(書)	https://www.kobegakuin.ac.jp/information/outline/financial/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:2026(令和8)年度事業計画書 対象年度:2026年度)
公表方法: https://www.kobegakuin.ac.jp/information/outline/financial/
中長期計画(名称:第3次中期行動計画(2023-2027) 対象年度:2023-2027年度)
公表方法: https://www.kobegakuin.ac.jp/foundation/data/middle/

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.kobegakuin.ac.jp/information/evaluation/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.kobegakuin.ac.jp/information/evaluation/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 法学部、経済学部、経営学部、人文学部、心理学部、現代社会学部、グローバル・コミュニケーション学部、総合リハビリテーション学部、栄養学部、薬学部
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページにて公表） （概要）教育研究上の目的は、すべて以下に公開している。 ○公表ホームページ 法学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_law/ 経済学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_economics/ 経営学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_business/ 人文学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_humanities/ 心理学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_psychology/ 現代社会学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_social/ グローバル・コミュニケーション学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_global/ 総合リハビリテーション学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_rehabilitation/ 栄養学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_nutrition/ 薬学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_pharmacy/
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） （概要）卒業又は修了の認定に関する方針は、すべて以下に公開している。 ○公表ホームページ 法学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_law/policy.html?id=dp 経済学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_economics/policy.html?id=dp 経営学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_business/policy.html?id=dp 人文学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_humanities/policy.html?id=dp 心理学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_psychology/policy.html?id=dp 現代社会学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_social/policy.html?id=dp グローバル・コミュニケーション学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_global/policy.html?id=dp 総合リハビリテーション学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_rehabilitation/policy.html?id=dp 栄養学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_nutrition/policy.html?id=dp 薬学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_pharmacy/policy.html?id=dp

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） （概要）教育課程の編成及び実施に関する方針は、すべて以下に公開している。 ○公表ホームページ 法学部：https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_law/policy.html?id=cp 経済学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_economics/policy.html?id=cp 経営学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_business/policy.html?id=cp 人文学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_humanities/policy.html?id=cp 心理学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_psychology/policy.html?id=cp 現代社会学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_social/policy.html?id=cp グローバル・コミュニケーション学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_global/policy.html?id=cp 総合リハビリテーション学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_rehabilitation/policy.html?id=cp 栄養学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_nutrition/policy.html?id=cp 薬学部：https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_pharmacy/policy.html?id=cp
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページ及び入試関係冊子等にて公表） （概要）入学者の受入れに関する方針は、すべて以下に公開している。 ○公表ホームページ 法学部：https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_law/policy.html?id=ap 経済学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_economics/policy.html?id=ap 経営学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_business/policy.html?id=ap 人文学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_humanities/policy.html?id=ap 心理学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_psychology/policy.html?id=ap 現代社会学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_social/policy.html?id=ap グローバル・コミュニケーション学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_global/policy.html?id=ap 総合リハビリテーション学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_rehabilitation/policy.html?id=ap 栄養学部： https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_nutrition/policy.html?id=ap 薬学部：https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_pharmacy/policy.html?id=ap ○入試に係る取組・改善状況について 大学入学選抜実施要項に定める入試日程を遵守し、学校推薦型選抜においては、調査書、高等学校在学時の活動、TOEIC®や英検を含む検定試験の成績や資格などを活用し、志願者の能力や適性等を多面的・総合的に評価することに努めている。 また、試験問題の解答、

志願者・合格者・入学者数をはじめ大学選択に係る様々な情報を 大学ホームページや入試関係冊子に掲載し、適切に情報を公開している。
--

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法 : <https://www.kobegakuin.ac.jp/information/outline/organization.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	5 人	—					5 人
法学部	—	28 人	7 人	1 人	0 人	0 人	36 人
経済学部	—	16 人	9 人	1 人	1 人	0 人	27 人
経営学部	—	19 人	7 人	0 人	0 人	0 人	26 人
人文学部	—	12 人	11 人	5 人	0 人	0 人	28 人
心理学部	—	13 人	3 人	5 人	0 人	0 人	21 人
現代社会学部	—	15 人	5 人	2 人	0 人	0 人	22 人
グローバル・コミュニケーション学部	—	7 人	4 人	7 人	0 人	0 人	18 人
総合リハビリテーション学部	—	14 人	10 人	15 人	1 人	0 人	40 人
栄養学部	—	11 人	2 人	5 人	7 人	0 人	25 人
薬学部	—	19 人	8 人	18 人	5 人	7 人	57 人
教養部（一般）	—	4 人	6 人	13 人	0 人	0 人	23 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		399 人					399 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：神戸学院大学ホームページ（教員データベース） https://researcher-database.kobegakuin.ac.jp/kguhp/TOP?lang=ja					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
本学では、FD を「本学の教育にかかわるすべての組織及びその構成員が、大学憲章にもとづく教育目標の達成を目指して行う、教育の質向上のための組織的で継続的な取り組み」と定義し、活動している。 また、2017 年 9 月以降は毎年、本学専任教員 FD 活動参加率 100%を達成している。 2026 年度の全学的な実施スケジュールについては以下の通りである。なお、これとは別途、各学部・研究科で独自の FD を実施する。							
2026 年度							
4 月 新採用教員対象 FD オンデマンド研修							
6 月 FD セミナー「Moodle 活用セミナー」							
7 月 前期授業アンケート							

未定 FD セミナー（内容未定）
12 月 後期授業アンケート

④ 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに
進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
法学部	450 人	479 人	106.4%	1,808 人	1,954 人	108.1%	4 人	0 人
経済学部	340 人	343 人	100.9%	1,368 人	1,458 人	106.6%	4 人	1 人
経営学部	340 人	331 人	97.4%	1,368 人	1,469 人	107.4%	4 人	0 人
人文学部	300 人	329 人	109.7%	1,208 人	1,251 人	103.6%	4 人	1 人
心理学部	150 人	157 人	104.7%	600 人	663 人	110.5%	若干名	0 人
現代社会学部	220 人	234 人	106.4%	880 人	949 人	107.8%	若干名	3 人
グローバル・コミュニ ケーション学部	180 人	195 人	108.3%	720 人	771 人	107.1%	若干名	0 人
総合リハビリテーシ ョン学部	170 人	203 人	119.4%	680 人	693 人	101.9%	若干名	0 人
栄養学部	160 人	159 人	99.4%	640 人	568 人	88.8%	若干名	0 人
薬学部	250 人	147 人	58.8%	1,500 人	1,171 人	78.1%	若干名	1 人
合計	2,560 人	2,577 人	100.7%	10,772 人	10,947 人	101.6%	16 人	6 人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
法学部	455 人 (100%)	6 人 (1.3%)	395 人 (86.8%)	54 人 (11.9%)
経済学部	328 人 (100%)	0 人 (0.0%)	289 人 (88.1%)	39 人 (11.9%)
経営学部	351 人 (100%)	4 人 (1.1%)	317 人 (90.3%)	30 人 (8.6%)
人文学部	293 人 (100%)	8 人 (2.7%)	254 人 (86.7%)	31 人 (10.6%)
心理学部	131 人 (100%)	14 人 (10.7%)	99 人 (75.6%)	18 人 (13.7%)
現代社会学部	219 人 (100%)	4 人 (1.8%)	199 人 (90.9%)	16 人 (7.3%)
グローバル・コミュニ ケーション学部	142 人 (100%)	4 人 (2.8%)	123 人 (86.6%)	15 人 (10.6%)
総合リハビリテーシ ョン学部	157 人 (100%)	0 人 (0.0%)	148 人 (94.3%)	9 人 (5.7%)
栄養学部	126 人 (100%)	1 人 (0.8%)	103 人 (81.7%)	22 人 (17.5%)
薬学部	211 人 (100%)	4 人 (1.9%)	189 人 (89.6%)	18 人 (8.5%)

合計	2,413 人 (100%)	45 人 (1.9%)	2,116 人 (87.7%)	252 人 (10.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
○進学先 明治大学大学院、兵庫教育大学大学院、大阪工業大学大学院、神戸大学大学院、神戸学院大学大学院、神奈川大学大学院、兵庫県立大学大学院、兵庫教育大学大学院、大阪公立大学大学院、神戸情報大学院大学、近畿大学大学院、京都大学大学院、鳴門教育大学大学院、梅花女子大学大学院、追手門学院大学大学院、立命館大学大学院、同志社大学大学院、香川大学大学院、武蔵野大学大学院、大阪教育大学大学院、青山学院大学大学院、国立台南大学大学院、北海道大学大学院、東京大学大学院				
○就職先 兵庫県警察本部、大阪府警察本部、株式会社みなと銀行、株式会社りそな銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社但馬銀行、播州信用金庫、兵庫信用金庫、姫路信用金庫、日新信用金庫、株式会社テクノプロ テクノプロ・IT 社、積水ハウス株式会社、神戸トヨペット株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、姫路市役所、イオンリテール株式会社、ALSOK 株式会社、アパホテル株式会社、東京消防庁、財務省国税庁大阪国税局、兵庫県庁、神戸市教育委員会、神戸市消防局、株式会社マイナビ、ネットヨタゾナ神戸株式会社、関西エアポートアビエーションサービス株式会社、株式会社ベネッセスタイルケア、医療法人社団英明会 大西脳神経外科病院、尼崎中央リハビリテーション病院、エームサービス株式会社、一般財団法人京都工場保健会、株式会社グリーンハウス、株式会社スギ薬局、日本調剤株式会社、クオール株式会社				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
法学部	537 人 (100%)	409 人 (76.2%)	75 人 (14.0%)	53 人 (9.9%)	0 人 (0%)
経済学部	350 人 (100%)	283 人 (80.9%)	34 人 (9.7%)	33 人 (9.4%)	0 人 (0%)
経営学部	406 人 (100%)	335 人 (82.5%)	40 人 (9.9%)	31 人 (7.6%)	0 人 (0%)
人文学部	314 人 (100%)	249 人 (79.3%)	36 人 (11.5%)	29 人 (9.2%)	0 人 (0%)
心理学部	159 人 (100%)	125 人 (78.6%)	21 人 (13.2%)	13 人 (8.2%)	0 人 (0%)
現代社会学部	238 人 (100%)	203 人 (85.3%)	18 人 (7.6%)	17 人 (7.1%)	0 人 (0%)
グローバル・コミュニケーション学部	175 人 (100%)	127 人 (72.6%)	17 人 (9.7%)	31 人 (17.7%)	0 人 (0%)
総合リハビリテーション学部	163 人 (100%)	133 人 (81.6%)	13 人 (8.0%)	17 人 (10.4%)	0 人 (0%)
栄養学部	151 人 (100%)	107 人 (70.9%)	23 人 (15.2%)	21 人 (13.9%)	0 人 (0%)
薬学部	243 人 (100%)	148 人 (60.9%)	52 人 (21.4%)	43 人 (17.7%)	0 人 (0%)
合計	2,736 人 (100%)	2,119 人 (77.4%)	329 人 (12.0%)	288 人 (10.5%)	0 人 (0%)
(備考)					
中途退学者には除籍を含む。また、入学後に転学部した学生 (5 名) は、以下のとおり転学部先の学部において入学したものととして計上。					
- 人文学部：1 名、(転学部先) 現代社会学部 1 名 - グローバル・コミュニケーション学部：1 名、(転学部先) 現代社会学部 1 名 - 栄養学部：3 名、(転学部先) 経済学部 1 名、人文学部 1 名、現代社会学部 1 名					

薬学部（2020 年度生）転学部（転出）：2 名、（2020 年度生のため転学先ではカウントしない。）

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）

本学では、シラバスの項目や記入方法を全学的に統一している。具体的には、「シラバス作成マニュアル」を全教育職員に配付し、シラバスの質保証に努めている。

また、本学では、次年度のシラバスを毎年 11 月から翌年 1 月頃までにかけて作成し、3 月に教務センターが実施する「履修ガイダンス」に先だて、あらかじめ広く一般に公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）

本学では「学則」第 13～20 条および「学科目履修規則」第 3～10 条において、各授業科目の単位、授業科目履修方法、履修科目修了の認定、履修成績等について定めるとともに、「シラバス（授業計画）」の「提出課題など」と「成績評価方法・基準」において、各授業科目の成績評価に関する事項をあらかじめ公表している。

具体的な成績評価方法については、「授業中の質疑・発表」、「小テスト」、「中間テスト」、「レポート」、「定期試験」等とし、その評価は、秀（90 点以上）、優（80 点以上 90 点未満）、良（70 点以上 80 点未満）、可（60 点以上 70 点未満）、（不可 60 点未満）をもって表示し、秀、優、良、可を合格、不可を不合格としている。

また、本学では「全学共通 GPA」を制定している。具体的には、秀＝S（4 点）、優＝A（3 点）、良＝B（2 点）、可＝C（1 点）、不可＝D（0 点）、無評価＝／（0 点）を GP（Grade Point）とし、以下の式を用いて「全学共通 GPA」を算出している。

$$\{ (4 \times S \text{ の修得単位数}) + (3 \times A \text{ の修得単位数}) + (2 \times B \text{ の修得単位数}) + (1 \times C \text{ の修得単位数}) \} \div \text{履修したすべての科目の単位数の合計} (S + A + B + C + D + /)$$

上記した「全学共通 GPA」を公式ホームページにて公表し、且つ学生に向けては「履修の手引」にも同様の内容を掲載することで、算出方法や学内外での利用方法について周知を図っている。

加えて、「学科目履修規則」第 3 条において、学生が、定められた期間に履修取消申請をし、許可された場合や、病気等により長期欠席となり履修中止申請をし、許可された場合は、履修登録を取り消すことができる旨を規定している。

本学では「学則」、「学位規則」及び「学科目履修規則」に則り卒業認定を行っている。また、卒業の認定方針については、全学の「ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）」を定め、その下にすべての学部学科等のポリシーを定めている。

具体的には、「学位規則」第 2 条第 1 項に、学士の学位を授与するものを定め、その方針を全学および学部学科等の「ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）」にて明示している。当該方針は、本学公式ホームページにて公表し、且つ学生に向けては「履修の手引」にも同様の内容を掲載することで周知を図っている。

上記した方針をカリキュラムに反映するため、「学則」第 16 条および「学科目履修規則」第 2 条において、卒業に必要な要件である科目数と単位数を定めている。また、学生の卒業及び学位の授与は「学則」第 9 条に基づき、学長が決定を行う。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
法学部	法律学科	124 単位	㊟・無	各学期 24 単位
経済学部	経済学科	124 単位	㊟・無	各学期 24 単位
経営学部	経営学科	124 単位	㊟・無	各学期 24 単位

人文学部	人文学科	124 単位	㊥・無	各学期 24 単位
				2 年次以上で、かつ履修科目を登録する時点における通算 GPA が 3.3 以上の者は、26 単位以内とする。
心理学部	心理学科	124 単位	㊥・無	各学期 24 単位
				2 年次以上において、履修科目を登録する時点における通算 GPA が 3.0 以上の者は、28 単位を上限とする。
現代社会学部	現代社会学科	124 単位	㊥・無	1 年次のみ前後期とも 24 単位
				以降各学期 22 単位
	社会防災学科	124 単位	㊥・無	1 年次のみ前後期とも 24 単位
				以降各学期 22 単位
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科	124 単位	㊥・無	各学期 24 単位
総合リハビリテーション学部	理学療法学科	124 単位	㊥・無	1 年次前期 26 単位、後期 23 単位
				2 年次前期 24 単位、後期 24 単位
	作業療法学科	124 単位	㊥・無	3 年次前期 23 単位、後期 26 単位
				4 年次前期 24 単位、後期 24 単位
				1 年次のみ各学期 25 単位
	社会リハビリテーション学科	124 単位	㊥・無	以降各学期 24 単位
				前期 24 単位
				後期 25 単位
栄養学部	栄養学科	管理栄養学専攻 124 単位 臨床検査学専攻 129 1/3 単位	㊥・無	通年 50 単位未満
薬学部	薬学科	186 単位	㊥・無	通年 50 単位以内
G P A の活用状況（任意記載事項）		公表方法： 神戸学院大学公式ホームページ「成績評価・G P A 制度」 https://www.kobegakuin.ac.jp/information/public/evaluation_gpa.html ただし、薬学部では、選択必修の専門教育科目に限定して算出する		

	「薬学 GPA」を併用しており、これを履修指導や各賞推薦の判断基準に利用している。
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法： ・神戸学院大学公式ホームページ「入学者数、収容定員及び在学生数、卒業又は修了した者の数並びに就職者数、その他進学及び就職等の状況に関すること」 https://www.kobegakuin.ac.jp/information/public/ ・神戸学院大学公式ホームページ「第 61 回理学療法士・作業療法士および第 38 回社会福祉士・第 28 回精神保健福祉士国家試験について」 https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_rehabilitation/news/b2ade38ccd94c48fb3be.html ・神戸学院大学公式ホームページ「第 40 回管理栄養士国家試験について」 https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_nutrition/news/f042d10f374e5933ca5c.html ・神戸学院大学公式ホームページ「第 72 回臨床検査技師国家試験について」 https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_nutrition/news/585031d7a83532d63d49.html ・神戸学院大学公式ホームページ「第 111 回薬剤師国家試験について」 https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_pharmacy/news/4d66e39e8890135a2402.html

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.kobegakuin.ac.jp/information/public/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること
2019 年度以前入学生（2 年目以降）

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
法学部	法律学科	720,000 円	0 円	200,000 円	施設設備維持充実費
経済学部	経済学科				
経営学部	経営学科				
人文学部	人文学科	750,000 円	0 円	200,000 円	施設設備維持充実費
心理学部	心理学科	800,000 円	0 円	300,000 円	施設設備維持充実費
現代社会 学部	現代社会 学科	800,000 円	0 円	200,000 円	施設設備維持充実費
	社会防災 学科				
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科 英語コース	800,000 円	0 円	200,000 円	施設設備維持充実費
	グローバル・コミュニケーション学科 中国語コース				
	グローバル・コミュニケーション学科 日本語コース				
総合リハビリテーション学部	理学療法 学科	1,350,000 円	0 円	400,000 円	施設設備維持充実費
	作業療法 学科				
	社会リハビリテーション学 科	900,000 円	0 円	300,000 円	施設設備維持充実費
栄養学部	栄養学科 管理栄養 学専攻	800,000 円	0 円	400,000 円	施設設備維持充実費
	栄養学科 生命栄養 学専攻	1,000,000 円	0 円	400,000 円	施設設備維持充実費
薬学部	薬学科	1,395,000 円	0 円	400,000 円	施設設備維持充実費

2020 年度～2022 年度入学生（2 年目以降）

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
法学部	法律学科	770,000 円	0 円	210,000 円	施設設備維持充実費
経済学部	経済学科				
経営学部	経営学科				

人文学部	人文学科	800,000 円	0 円	210,000 円	施設設備維持充実費
心理学部	心理学科	850,000 円	0 円	310,000 円	施設設備維持充実費
現代社会 学部	現代社会 学科	850,000 円	0 円	210,000 円	施設設備維持充実費
	社会防災 学科				
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科 英語コース	850,000 円	0 円	210,000 円	施設設備維持充実費
	グローバル・コミュニケーション学科 中国語コース				
	グローバル・コミュニケーション学科 日本語コース				
総合リハビリテーション学部	理学療法 学科	1,360,000 円	0 円	400,000 円	施設設備維持充実費
	作業療法 学科				
	社会リハビリテーション学 科	910,000 円	0 円	300,000 円	施設設備維持充実費
栄養学部	栄養学科 管理栄養 学専攻	860,000 円	0 円	420,000 円	施設設備維持充実費
	栄養学科 臨床検査 学専攻	1,060,000 円	0 円	420,000 円	施設設備維持充実費
薬学部	薬学科	1,455,000 円	0 円	420,000 円	施設設備維持充実費

2023 年度入学生（2 年目以降）

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
法学部	法律学科	770,000 円	0 円	210,000 円	施設設備維持充実費
経済学部	経済学科				
経営学部	経営学科 経営・会 計専攻	770,000 円	0 円	210,000 円	施設設備維持充実費
	経営学科 データサイエンス 専攻	850,000 円	0 円	210,000 円	施設設備維持充実費

人文学部	人文学科	800,000 円	0 円	210,000 円	施設設備維持充実費
心理学部	心理学科	850,000 円	0 円	310,000 円	施設設備維持充実費
現代社会 学部	現代社会 学科	850,000 円	0 円	210,000 円	施設設備維持充実費
	社会防災 学科				
グローバル・コミュニ ケーション学部	グローバル・コミュニ ケーション学科 英語コース	850,000 円	0 円	210,000 円	施設設備維持充実費
	グローバル・コミュニ ケーション学科 中国語コー ス				
	グローバル・コミュニ ケーション学科 日本語コー ス				
総合リハビ レーション学 部	理学療法 学科	1,360,000 円	0 円	400,000 円	施設設備維持充実費
	作業療法 学科				
	社会リハビ レーション学 科	910,000 円	0 円	300,000 円	施設設備維持充実費
栄養学部	栄養学科 管理栄養 学専攻	860,000 円	0 円	420,000 円	施設設備維持充実費
	栄養学科 臨床検査 学専攻	1,060,000 円	0 円	420,000 円	施設設備維持充実費
薬学部	薬学科	1,455,000 円	0 円	420,000 円	施設設備維持充実費

2024 年度以降入学生（※入学初年度）

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
法学部	法律学科	780,000 円	200,000 円	230,000 円	施設設備維持充実費
経済学部	経済学科				
経営学部	経営学科 経営・会 計専攻	780,000 円	200,000 円	230,000 円	施設設備維持充実費
	経営学科 データサイ エンス 専攻	840,000 円	200,000 円	230,000 円	施設設備維持充実費

人文学部	人文学科	810,000 円	200,000 円	230,000 円	施設設備維持充実費
心理学部	心理学科	810,000 円	200,000 円	310,000 円	施設設備維持充実費
現代社会 学部	現代社会 学科	840,000 円	200,000 円	230,000 円	施設設備維持充実費
	社会防災 学科				
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科 英語コース	860,000 円	200,000 円	230,000 円	施設設備維持充実費
	グローバル・コミュニケーション学科 中国語コース				
	グローバル・コミュニケーション学科 日本語コース				
総合リハビリテーション学部	理学療法 学科	1,320,000 円	250,000 円	400,000 円	施設設備維持充実費
	作業療法 学科				
	社会リハビリテーション学 科	870,000 円	200,000 円	300,000 円	施設設備維持充実費
栄養学部	栄養学科 管理栄養 学専攻	850,000 円	250,000 円	440,000 円	施設設備維持充実費
	栄養学科 臨床検査 学専攻	1,050,000 円	250,000 円	440,000 円	施設設備維持充実費
薬学部	薬学科	1,405,000 円	250,000 円	440,000 円	施設設備維持充実費

2024 年度以降入学生（※2 年目以降）

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
法学部	法律学科	820,000 円	0 円	230,000 円	施設設備維持充実費
経済学部	経済学科				
経営学部	経営学科 経営・会 計専攻	820,000 円	0 円	230,000 円	施設設備維持充実費
	経営学科 データサイエンス 専攻	880,000 円	0 円	230,000 円	施設設備維持充実費

人文学部	人文学科	850,000 円	0 円	230,000 円	施設設備維持充実費
心理学部	心理学科	850,000 円	0 円	310,000 円	施設設備維持充実費
現代社会 学部	現代社会 学科	880,000 円	0 円	230,000 円	施設設備維持充実費
	社会防災 学科				
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科 英語コース	900,000 円	0 円	230,000 円	施設設備維持充実費
	グローバル・コミュニケーション学科 中国語コース				
	グローバル・コミュニケーション学科 日本語コース				
総合リハビリテーション学部	理学療法 学科	1,360,000 円	0 円	400,000 円	施設設備維持充実費
	作業療法 学科				
	社会リハビリテーション学 科	910,000 円	0 円	300,000 円	施設設備維持充実費
栄養学部	栄養学科 管理栄養 学専攻	890,000 円	0 円	440,000 円	施設設備維持充実費
	栄養学科 臨床検査 学専攻	1,090,000 円	0 円	440,000 円	施設設備維持充実費
薬学部	薬学科	1,465,000 円	0 円	440,000 円	施設設備維持充実費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 【修学支援の方針】 建学の精神「真理愛好・個性尊重」に基づき、全学の教育目標である「自主的で個性豊かな良識のある社会人の育成」を実現するために、全学の修学支援の方針を以下のとおりとする。 1. 各学部・研究科において指導教員制度を実施し、学部・研究科、教務センターとの連携の下に、きめ細やかな修学支援・指導を行う。 2. 成績不振者、留年者に対しては、修学状況の改善のために、指導教員を中心に、学部、教務センターが連携して適切な支援・指導を行う。 3. 障がいのある学生に対して適切な支援体制を整備し、個々の学生にとって有効な学習

環境・修学支援を提供する。 4. 本学独自の奨学金制度・奨励金制度により、意欲のある学生に適切な修学環境を提供する。 各学部において指導教員制度を実施し、教務センターと連携してきめ細やかな修学支援・指導を行っている。日頃からオフィスアワーを設け指導教員と学修相談ができる体制を整えており、特に成績不振者については一定の基準を定め、該当する学生を指導教員が個々に指導している。また 保証人にも半年ごとに成績を開示しており、成績不振者に該当する場合はその旨を併せて通知し情報を共有している。留年者についても、同様に成績発表時に指導教員が指導を行っている。 休学及び退学を願い出るにあたっては、指導教員が事前に相談にあたり、指導教員の了承のもとで願い出する体制を取ることで学業の継続のための適切な支援・指導をする機会を確保している。 高校からの学修と大学教育の円滑な接続を図るため全学部を対象とする共通教育科目に高大接続分野科目を開設している。ここで高校時の履修状況に配慮した補充（リメディア）ル）教育の一環として各分野の基礎知識を修得させるため、1年次に「近現代史概論Ⅰ・Ⅱ」「生物学概論Ⅰ・Ⅱ」「化学概論Ⅰ・Ⅱ」「数理科学基礎Ⅰ・Ⅱ」を開講している。 さらに各学部においては初年次に「入門演習」や「基礎演習」を開設し、大学生活への導入教育を行うことで離学の防止につなげている。 奨学金・奨励金制度については、学生が安心した学生生活を送ることができるよう、経済支援を目的とした奨学金をはじめ、学業奨励・課外活動等支援を目的とした奨学金など、様々な奨学金制度（奨励金・学費免除）を設けている。学生が利用できる経済支援型の奨学金、学術分野や社会活動等での優秀者や学業成績優秀者に対する奨励金、クラブ活動に励む学生が利用できる奨学金、私費外国人留学生在が利用できる学内外の奨学金、海外への留学を希望する学生が利用できる奨学金等がある。 また、学費を納入期限までに納入することが困難な学生に対し、学費延納制度を設けている。学費納入期限の延長を希望する者は、前期・後期とそれぞれ申請が必要になる。延納を許可された者は、前期学費を4月末日から6月末日まで、後期学費を10月末日から12月末日まで期限を延長し、学費を納入することができる。さらに、延納を許可された者で、やむを得ない事情により、所定の期日までに納入できないときは、学費延納特別猶予願を提出し、納入期限を延期することができる（前期7月末日まで、後期1月末日まで）。 2015年度より本学の学生が正課や課外の通常の活動範囲を超えて、自由な発想でプロジェクトを企画し、活動を通して成長を支援することを目的とした「学生チャレンジプロジェクト」を実施している。学生自らが考えた企画に対して、1件30万円（踏み出し支援）または50万円（高度化支援）を上限（5件程度採択）として助成金を支給し、学生の主体的・自主的な活動を支援している。また、学生の成長を支援するために、スタートアップ研修、プレゼンテーション研修、フォローアップ研修といった3つの研修を実施している。 障がいのある学生への支援については、障がい等の理由により、学生生活を送るうえで困難なことや、授業等での困りごとに関する相談窓口として、各キャンパスに障がい学生支援室を設置しており、障がい学生支援コーディネーターを配置している。必要に応じて、合理的配慮の申請を行っている。	b. 進路選択に係る支援に関する取組 （概要） 【進路支援の方針】 建学の精神「真理愛好・個性尊重」に基づき、「自主的で個性豊かな良識のある社会人育成」を実現するために、全学の進路・就職支援の方針を以下のとおりとする。 1. 学生が自分の個性にあった進路・就職先を見つけられるように多様な支援を行う。
---	---

2. 各行政機関との就職支援協定を活かし、UIJ ターンして地方の活性化に貢献できる学生を育成する。

キャリアセンターでは、各学年を対象にした就職ガイダンス（講座）や「履歴書・エントリーシート作成」「面接対策」「業界研究」など、就職活動に役立つセミナー等を体系的に開催しています。

また、オンラインによる採用選考を支援するため、2つのキャンパスのキャリアセンター内に「オンライン選考用個室ブース」を設置しています。

さらに、各キャンパスにキャリアカウンセラー等の資格を有する進路相談員を配置し、対面による相談に加えて、Zoom によるオンライン相談も可能な学生相談体制を整え、エントリーシート添削指導、面接練習等の細かな指導を行うなど、専門知識を生かして、学生の希望進路の実現に向けた各種アドバイス・指導を行っています。

その他、企業からの求人情報を Web で確認できる就職情報管理 Web システムを導入し、合同企業説明会、インターンシップ等の情報をはじめ、既卒者、留学生、障がいのある学生等に対する就職情報の提供に加え、21 府県と就職支援協定を締結し、各府県と連携しながら地方就職を希望する学生に情報発信するなど、幅広くフォローしています。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）

【生活支援の方針】

建学の精神「真理愛好・個性尊重」、並びに神戸学院大学憲章に定める教育基本理念「生涯にわたる人間形成の基礎となる教育」に基づき、すべての学生が充実した大学生活を送るための多面的で総合的な支援活動を生活支援に関する基本方針とし、以下によりその実現を目指す。

1. 健康的で充実した大学生活の実現に向けての支援を行う。
2. 安心安全で快適なキャンパスを実現するため、大学環境を整備する。
3. 課外活動を奨励、支援する。

医務室は年 1 回定期健康診断を実施し、学生の健康管理を行っている。また、けがの応急処置や体調不良時の対応を行い、必要に応じて学校周辺の病院を紹介している。身体的・精神的な相談や悩みなどについては、学校医により専門的なアドバイスを受けることができる。

学生相談室では、大学生活の中で、学生が抱えるさまざまな悩みごとの相談を受け付けている。専門のカウンセラーが学業、進路、人間関係、生活上のことなどの相談に応じている。どのような相談でも、気軽に学生相談室を訪ねることができ、学生の気持ちを尊重しながらカウンセラーがじっくり話を聴き、一緒に解決の糸口を見つけている。相談内容の秘密は守られる。

ハラスメント相談室では、ハラスメントに関する専門知識を持つ専門相談員が、ハラスメントの被害を受けた相談者の事情を聞き、相談者の立場に立って相談に応じる。専門相談員は、相談者の問題が少しでも改善されるよう一緒に考え、適切な情報提供と助言を行い、問題解決のための全過程において相談者の自己決定と権利回復を援助する。相談者のプライバシーを最大限保護し、秘密を厳守している。

また、教育研究活動中に生じた事故に備え、入学時に学生教育研究災害傷害保険（以降、学研災）および通学中等傷害危険担保特約に全員加入しており、大学で保険金の申請手続きを受け付けている。また、任意加入できる学研災付帯賠償責任保険の案内・加入手続き、学研災ではカバーできない範囲まで補償を広げた神戸学院大学学生総合補償制度の案内も行っている。さらに、課外活動団体に対しては、スポーツ安全保険への加入費用を大学と同窓会とで全額負担している。体育会所属団体は全員加入するように案内しており、それ以外の団体は任意加入としている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.kobegakuin.ac.jp/information/public/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A 4とする。

(任意様式)

○総合知を育成するための学生の学びの充実に向けた取り組み

教育未来創造会議第一次提言（令和4年5月10日）「(2) 学部・大学院を通じた文理教育の推進と卒業後の人材受入れ強化」の＜具体的取組＞に基づき記載

①STEAM 教育の強化・文理横断による総合知創出	
＜具体的取組＞	＜本学の取組＞
【入試科目の見直し】 ・人文・社会科学系における理系科目や、自然科学系における文系科目の設定といった、大学入学者選抜における文理横断の観点からの出題科目の見直しを促進する。	一部の理系学部において文系科目（国語）、全文系学部において理系科目（数学）を入試に設定しているほか、大学入学共通テストを利用する入試においては、文系学部で理系科目、理系学部で文系科目を判定に利用できる等、受験生が多様な選択をできるよう、入試科目の設定を行っている。
【入学後の文理横断型の教育】 ・文理横断による総合知の創出を図るための論理的思考力と規範的判断力を磨き、課題発見・解決力、未来社会の構想・設計力を身に付けるリベラルアーツ教育の強化や、ダブルメジャー、メジャー・マイナーなどの複数専攻の学修を促進する。	・本学では、全学的な協力体制の下に、全学共通の教養教育・基礎教育を充実させるために、「共通教育プログラム」を実施している。共通教育科目は、「リテラシー領域」と「リベラルアーツ領域」の2つの領域で構成しており、何れにおいても文理融合型の科目設置を行っている。これは、文理10学部を要する総合大学である特色に他ならず、全ての学部で共通教育科目の一定単位数の修得を卒業要件としている。 ・本学では、法、経済、経営（データサイエンス専攻を除く）、人文、現代社会学部、総合リハビリテーション学部（社会リハビリテーション学科）に入学した学生が、学部の専門分野を学びながら、「スポーツ」について理論と実践を多面的に学ぶ副専攻的な教育プログラムである「スポーツサイエンス・ユニット」を置いている。2年次生から選択可能（ただし選抜を行うもの）であり、スポーツ振興を支える専門家の育成を目的に、次の各種資格取得も可能となっている。 ・レクリエーション・インストラクター資格 ・健康運動実践指導者認定試験受験資格 ・スポーツコーチングリーダー認定試験受験資格 ・初級パラスポーツ指導員資格 国際的トレーニング指導資格（米国NSCA認定） ▶CSCS（NSCA認定ストレングス&コンディショニングスペシャリスト）認定校試験受験資格

	▶NSCA-CPT（NSCA 認定パーソナルトレーナー）認定校試験受験資格
【入学後の文理横断型の教育】 【複線的・多面的な学び】 ・学部等の枠を超えた大学入学者選抜の実施などによる入学後の専攻分野の決定（レイトスペシャライゼーション）や、入学後の専攻分野の転換、編入学など、学生が大学での学修の中で専攻分野を決定したり、専攻分野の転換をより容易にしたりする等の複線的・多面的な学びの実現を図る。	転学部制度（転学科、転専攻を含む）を設けており、学生が学修する上で専攻分野の変更を希望する場合は、転学部の選考に合格することで、専攻分野を変更することができる。（申請条件、受入れ年次、選考方法は学部によって異なる。）
【全学的なデータサイエンス教育等の総合知を育成するための学生の学びの充実に向けた取組】 ・全学的なデジタルリテラシーの向上に向けた基礎素養としてのデータサイエンス等の履修促進や既存の理工系大学等における現職・実務家教員向けのリスキル・プログラムの開設を支援する。その際、オンラインを積極的に活用して優れた授業を活用する単位互換や研修を促進する。	【入学後の文理横断型の教育】に記した「共通教育プログラム」の「リテラシー領域」に、かねてより「情報分野」を置いていたが、2022 年度に、当該分野に「データサイエンス基礎」と「データサイエンス」を新たに開講した。 当該 2 科目は 2022 年度以降新たに入学した学生全員が履修可能である。また、履修学生数増進と教育効果の向上の両面に鑑みて、2 科目とも映像等のオンデマンド教材を用いた遠隔授業としている。さらに、学生の学修をサポートするため 2 科目とも複数名の教員が担当し、学生からの質問へのフィードバックを行っている。 なお、これら 2 科目による「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」は、「文部科学大臣認定 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）」である（認定の有効期限：2028 年 3 月 31 日まで）。

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「―」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F128310108730
学校名 (〇〇大学 等)	神戸学院大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 神戸学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		2491人（1404）人	2447人（1352）人	2577人（1466）人
内 訳	第Ⅰ区分	808人	761人	
	(うち多子世帯)	(157人)	(124人)	
	第Ⅱ区分	345人	338人	
	(うち多子世帯)	(70人)	(55人)	
	第Ⅲ区分	206人	224人	
	(うち多子世帯)	(45人)	(49人)	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	311人	273人	
	区分外（多子世帯）	821人	851人	
家計急変による 支援対象者（年間）				12人（―）人
合計（年間）				2589人（1467）人
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	67人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	40人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	23人	人	人
計	130人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	—	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	—
年間計	—
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
G P A等が下位4分の1	33人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	—	人	人
G P A等が下位4分の1	264人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	271人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。